

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 (認定NPO法人) かながわ森林インストラクターの会
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
☎ 045-412-2255 URL: <https://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林森の案内人 (定期) 観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から (認定NPO法人) かながわ森林インストラクターの会員が水源林をご案内します。
やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季 (12月・1月・2月) は安全確保のため休止します。

彩り美しい「やどりき水源林」へでかけよう!!

紅葉はこれからが見頃です

10月下旬のやどりき水源林は、朝晩の寒暖差もあり木々も色づきはじめてきました。
11月には見事な紅葉が見られますので、やどりき水源林へぜひお越しください。



《木々の紅葉がはじまりつつあります》



カツラ

黄葉したハート型の葉から「わたあめ」のような甘い香りがでて、辺り一面に漂っています。



イロハモミジ

紅葉の秋に、この樹木の彩りは欠かせないほど、美しい紅色になります。



イチョウ

寺社や街路樹でよく見かける樹木。少しずつ黄金色に黄葉がはじまっています。

水源林の秋の実りを楽しもう



ミヤマシキミ

実は綺麗な赤色ですが、アルカロイド(スキミアニン)といった毒成分を含んでいます。



ガマズミ

真っ赤に熟した果実は、鳥に大人気。人間にも人気で、酸っぱい果実は生でも食べられ、果実酒にもできます。



サンショウ

昔から香辛料などに使われており、種子には強い辛みがあります。紅色の果実が熟すと、中から黒く光沢ある種子がでてきます。



アラカシ

まだまだ成熟する前の実(ドングリ)。昔は果実を粉にし、アク抜きしてデンプンを固めて食用にした地域もあったとか。



アラカシ

冬芽は枝の先端に集まります。日本の気候風土によくあい、氷点下8℃以上であれば防寒対策をしなくても冬越しができます。



ホオノキ

冬芽は超大型で日本の樹木で最大級。芽を保護する大きな芽鱗で覆われています。2~3cmと大きいので誰でもすぐに見つけることができます。



ヤマムラサキ

ムラサキシキブと同様に毛で覆われています。ムラサキシキブより全体に毛が多く、枝にも毛が生えています。



ヤシャブシ

先端が尖った冬芽が葉または雌花で、芽鱗で覆われています。右下の緑色をしたものが雄花の冬芽で芽鱗はありません。



ミツマタ

花芽が沢山集まって蜂の巣に似た形。光沢のある白い毛(絹毛)に覆われています。



年明け3月の水源林のハイライト

12月からは冬季の休みに入りますが、3月には「森の案内人」によるガイドが再開されます。3月はミツマタの花を觀賞するのに、最高の季節がやってきます。3月15日(土)にはとっておきのミツマタ群生地までご案内するイベントが開催されます。ぜひ、お越しください。



3月のミツマタ



咲き誇るミツマタの群生

《まだまだ花も楽しめます》

咲いている花の種類は少ないですが、散策に彩りを添えてくれます。



←ホトトギス



アザミ→



ヤシャブシ

まだ緑色の果穂。実にはタンニンが多く含まれ、煮詰めた液は染料として使われていました。